

神経性過食症に関する 臨床研究にご協力ください (認知行動療法の無作為化比較試験)

神経性過食症の方に 研究への参加をお願いしています

神経性過食症とは、過食と嘔吐などを繰り返す病気で、

下記のような症状があります

- たくさん食べて過ぎてしまい、自分ではコントロールできない
- 食べたものを吐いたり、下剤をたくさんつかったりしてしまう
- 体重や体型のことで気分が左右される
- 極端な低体重（神経性やせ症）ではない



研究内容

本研究では、
「**摂食障害に焦点を
当てた認知行動療法
(CBT-E)**」と
「**医師による摂食障
害の標準的治療**」の
効果を比較し、検証
します。

CBT-E

食行動の問題を持続させている考えや行動に焦点を当てる治療法です。1回60分程度の面接を、最初は週に2回から始め、徐々に間隔をあげ、約5か月間で21回実施します。面接の他に、宿題（記録や課題）が出されます。

標準的治療

日本摂食障害学会が発行した摂食障害治療ガイドラインに則り、医師が過食症に対する説明や栄養指導、日常の問題に対する相談・アドバイスなどを行います。2週間から1ヶ月に一度の診察を、期間の定めなく行います。

【治療方法の決め方について】

この研究に参加することに同意された後、どちらの治療方法かは、右図のように「**ランダム（無作為）に決める方法**」で決められます。

わが国では認知行動療法（CBT-E）と標準的治療のどちらが効果的であるかまだ判明していません



研究への参加を同意

無作為に決める方法

認知行動療法
CBT-E

医師による
標準的治療

ご参加いただける方

1) 神経性過食症と診断される方

(過去3か月において、平均で週に1度以上の過食がある方)

2) 18歳以上の方

3) BMI {体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))} が17.5 より大きく40より小さい方。
(身長158cmでは約44kg～100kgの間の方)

4) 決められたスケジュール通りに来院し、評価を受けていただける方

5) 本研究の目的、内容を理解して、ご参加いただける方

上記以外にも研究に参加いただくための基準があります

研究実施概要

実施施設	東京都、千葉県、宮城県、福岡県内の協力施設
募集期間	2018年11月から2020年10月 (参加者数が多い場合、早期に締め切ることがございます)
協力期間	治療期間約5か月 + 事後評価 (評価は、治療開始前と治療開始5か月・10か月・1年8か月時点)
治療費	通常の保険診療費に加え、紹介状の無い方は初診料がかかります。 それ以外は無料。評価時に負担軽減費(謝金)をお渡しします。

お問合せ先

研究に興味をお持ちの方は、**下記のメールアドレスへお問い合わせください。**
詳しいご案内とともに、参加条件を満たすかどうかご相談させていただきます。
ご参加いただけそうな場合は、お近くの実施施設をご紹介します。

※病院への直接の問い合わせはご遠慮ください

*最終的にご参加いただけるかどうかは、各実施施設での診療後の決定となりますのでご了承ください。



: cbte.ncnp1@gmail.com

↑上記メールアドレスへ「件名:研究案内希望」としたメールをお送りください。
ご質問もお受けしております。お気軽にお問合せください。
※Gmailを受信できる環境から、ご返信をお願いいたします

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部
〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

研究題名: 神経性過食症に対する認知行動療法の無作為化比較試験

研究代表者: 安藤哲也(行動医学研究部室長) 担当者: 小川

